

透析治療部

いつも通りの透析治療が受けられるという安心・安全を提供

透析治療部 部長 菊川忠彦

透析治療は末期腎不全の方が生命維持するために必要不可欠の治療法です。患者さんが維持透析のために通う病院は決まっています。病気や手術や検査、治療を受けるために当院へ来た際に、透析治療を提供するのが透析治療部です。患者さんが治療施設の変更によって感じる不安を解消し、普段受けている維持透析と同じような治療を受けられるよう心がけています。また、患者さんが透析治療を始める際の導入サポートも行っています。当院は県内で唯一、透析施設に精神科を併設しています。精神疾患を合併した透析患者さんは、当院透析治療部があることで入院治療を受けることが出来ます。この4月からは透析室が拡張し2床増え、8床による受け入れ態勢となりました。増床により、治療スペースの拡充による安全な対応や、コロナ禍の中で治療を控えていた透析患者さんの県内病院からの多くの受け入れが可能になりました。今後も、安心・安全な治療を提供できるよう努力して参りますので、ご質問、不明な点等ございましたらお気軽にご連絡ください。



PROFILE

さくがわただひこ◎1995年宮崎医科大学（現：宮崎大学）医学部卒業。2014年から現職。専門は尿路腫瘍、ロボット支援手術、腎不全、放射線治療。趣味はゴルフ、野球観戦。